

# 馬電菱の実会だより (NO. 20)

秋の親睦旅行を10月4日・5日に実施

健保会館「五景館」に泊り、伊豆方面を周遊

本会の最大行事である親睦旅行も、今年には9回目を迎え、10月4日・5日に1泊2日の行程で箱根、芦ノ湖、伊豆高原へ出かけました。  
 本年の参加者は会員40名のほか、会社・労組の来賓者をはじめ前総務課長（現本社人事部福祉GR）の奥村さんもお迎えし、盛大に行なわれました。  
 宿泊は健保会館「五景館」を利用し、懇親会、そしてバスの中で2日間を楽しく有意義に過ごすことができました。  
 （今回初めて参加いただいた永瀬部長さんも、定年者のはりのある積極的な行動に驚かれたそうです）



さわやかに汗 青空の元 グランドゴルフを開催



初の試みであるグランドゴルフ大会を10月24日（月）に尾島町に常設の利根グランドゴルフ場で行いました。  
 当日は快晴のなか、会員の奥さん3名も含め合計19名が参加、初めて参加した人のホールインワンや、屋外での昼食の煮ぼうとう（煮込みうどん）に舌つつみを打つなど、さわやかな汗を流した半日でした。  
 なお、この写真をサービス版15円はがき版30円でお分けします。希望者は事務局までお申し込み下さい。

## 三菱電機志岐前社長の追悼集発行さる

昭和60年から平成4年度まで三菱電機の社長を務め、今年1月にお亡くなりになった志岐前社長の追悼集が発行されます。（詳しくは裏ページを参照）  
 会員の中で購入を希望する方がありましたら、事務局までお申し込み下さい。  
 領布価格1,500円（送料は会社負担）です。 申込期限（11月20日）

### 事務局より

1. 10月行事は上記のほか、会社行事の家族マスつり大会（10/23）や馬電杯ゴルフ大会（10/28）が行なわれ、それぞれ本会員も参加しました。
2. 今月の「新会員紹介」は紙面の都合から次号掲載とさせていただきます。
3. 全労済の火災共済へ加入している方には、保険料控除申請用の「共済掛金払込証明書」を同封しました。

発行  
1994-11-7 NO.20

発行責任者 斎藤 慶蔵  
編集者 下山順一郎

三菱電機労働組合群馬支部内  
電話 0276(52)3874



内容：志岐会長の寄稿文，インタビュー記事などの「遺稿集」，人生を綴る「志岐守哉小伝」，友人など関係者による「追悼文」，幼年時代からの「写真集」など

## 志岐会長の経営感， 男のロマンと人生を綴る

「明るい人、そして、公平な人だったと私は思われたい」。

4年前、外国のジャーナリストの「退任して10年後、どんな社長だったと言われたいか」と言う唐突な質問にこう答えた。10年後を迎えることなく消化管出血で帰らぬ人に。69歳だった。

東大 第一工学部を卒業し昭和22年10月に入社。開発畑を歩み神戸製作所長などを歴任後の60年6月、末席の専務から一挙に社長の椅子に座った。

「友人がみんな“お気の毒”って言うんですよ」。折りからの円高不況で、稼ぎ頭の半導体も伸び悩むなど逆風下での就任。しかも、ライバルの日立製作所、東芝にも大きく水を開けられていた。

「会社を明るくすることが第一」。そんな志岐体制のもと同社は情報通信分野の事業拡大、生産拠点の海外移転などを積極的に展開。「イメージが薄い」と言うレッテルを克服すべく「SOCIO-TECH」のスローガンのもとCI活動にも取り組み、米国の人気歌手マドンナの商業用起用が反響を呼んだ。平成2年度には史上最高の利益に。

豪快ネアカ、典型的なB型 そんな人柄を物語る武勇伝は数知れない。  
……………後略 (葬送 渡辺浩生「産経新聞」より)

A5判、タテ書き、  
写真約40ページ、本文約300ページ  
クロス貼り上製本、ケース付、頒布価格 1,500円/冊

編集：三菱電機株式会社 志岐守哉追悼集編集委員会(事務局 総務部)

# 志岐守哉 追悼集

